

## 建築家略歴

### 坂倉 準三 （さかくら じゅんぞう / 1901 - 1969）

1901 年、岐阜県に生まれる。東京帝国大学文学部にて美術史を学んだ後、1929 年に渡仏し、ル・コルビュジエのアトリエに 5 年間勤務。帰国後、1940 年に坂倉建築事務所（1946 年に坂倉準三建築研究所へ改称）を設立。生涯にわたり家具から都市計画にいたるまで、多様な作品群を生み出した。

#### <主な建築作品>

神奈川県立近代美術館／塩野義製薬研究所／羽島市庁舎／新宿西口広場

### 吉阪 隆正 （よしざか たかまさ / 1917 - 1980）

1917 年、東京に生まれる。早稲田大学理工学部建築学科を卒業後、1950 年にフランス政府給付留学生として渡仏、ル・コルビュジエのアトリエに 2 年間勤務。帰国後、1954 年に吉阪研究室（1964 年に U 研究室へ改称）を設立。教育と並行して建築設計活動を開始し、住宅から都市計画まで幅広く手掛けた。

#### <主な建築作品>

ヴィラ・クックウ／日仏会館／アテネ・フランセ／大学セミナーハウス

### 大高 正人 （おおたか まさと / 1923 - 2010）

1923 年福島県三春町に生まれる。1947 年東京大学第二工学部建築学科卒業後、同大学院に進学。1949 年前川國男建築設計事務所入所。1960 年世界デザイン会議に「メタボリズム・グループ」の一員として参加。1962 年大高建築設計事務所設立。建築のみならず都市計画の分野でも建築界を引っ張った。

#### <主な建築作品>

栃木県議会庁舎／広島市基町団地／坂出人工土地／千葉県文化会館

### 渡辺 仁 （わたなべ じん / 1887 - 1973）

1887 年、東京に生まれる。学習院中等科在学中に狩野友信から日本画を、東京帝国大学工科大学建築学科在学中には、吉田博に師事し水彩画を学ぶ。大学卒業後、鉄道院にて働く。1917 年、逓信省に入省。1920 年に渡辺仁建築工務所を設立する。RC 造による建物を数多く手掛け、時代の要請を巧みに感じ取りながら果敢な挑戦を繰り返した。

#### <主な建築作品>

ホテル・ニューグランド／銀座和光ビル／第一生命保険相互会社本館／原美術館／東京国立博物館本館（重要文化財）

### 平田 重雄 （ひらた しげお / 1906 - 1987）

1906 年、東京に生まれる。1931 年、米国コーネル大学建築学科を卒業後、同校の先輩・松田軍平による松田軍平建築事務所へ入所。1942 年に松田平田設計事務所へ改組、我が国におけるパートナーシップにより運営される建築設計組織の先駆けとなる。モダニズムの影響が出始めた 1920 年代末に留学をした平田は、デザインにおいても大きな力を発揮した。

#### <主な建築作品>

石橋徳次郎邸／箱根仙石原平田別荘／Villa Le Mais（平田重雄自邸）